



学校だより9月号

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

令和2年 8月 31日

横浜市立日限山小学校

〒233-0015

港南区日限山二丁目 16番1

TEL 045(841)6561

思いやりの気持ちをもって

～3つの“感染症”の拡大を防ぐために～

校長 岡崎 陽子

例年より短い夏休みが終わりました。厳しい残暑の中、子どもたちは感染症と熱中症の対策を同時に行いながら、学校に通い、学習に取り組んでいます。保護者・地域の皆様には、安全面や健康面で多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

先日、文部科学大臣より新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けたメッセージが発表されました。その内容は、学校において引き続き、新型コロナウイルス感染症に関する正しい情報に基づく適切な判断・行動をとること。偏見や差別の防止を徹底すること。そして、児童及び保護者・地域の皆様に改めて、ご理解とご協力をお願いするものでした。メッセージは、別紙で配付いたしましたので、ぜひ、お読みください。

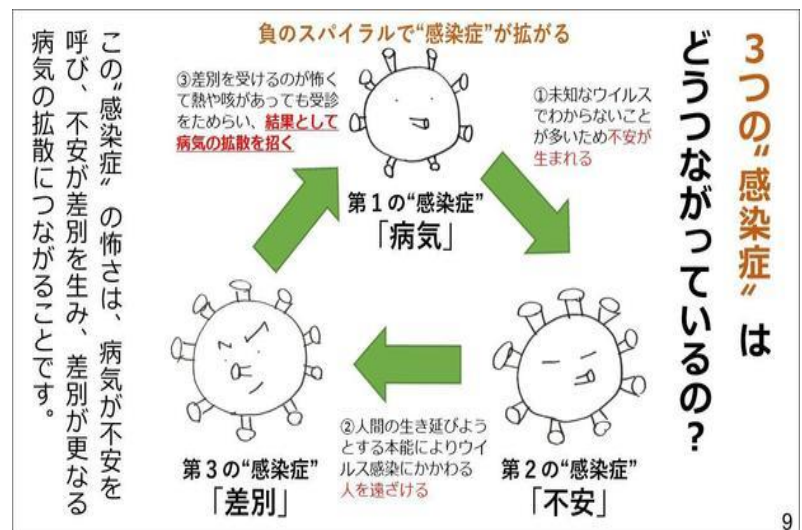
これに先立ち、学校では、朝会で右のような日本赤十字社の資料をもとに子どもたちに話をしました。

この資料では、新型コロナウイルスは3つの“感染症”という顔を持って私たちの生活に影響を及ぼしていること。“3つの顔”とは、「病気」「不安」「差別」のことで、これらが負のスパイラルとなつてつながることで、更なる感染の拡大につながってしまうこと。この負のスパイラルを断ち切るために、みんながそれぞれの立場でできることを考えて行動することが大切であることを学びました。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちをもって温かく接すること。また自分は元気だから大丈夫ということではなく、自分が感染させてしまう可能性もあることを意識して行動すること。今こそ、思いやりの気持ちをもつことが大切であるとあらためて気づかされました。

朝、正門に立って子どもたちと挨拶を交わしていた時、「校長先生、暑いですね。」と一人の子が、私の体調を気遣って、自分の下じきで私を扇いでくれました。また、工事で通りになくってしまった所に停めてあった電動式自転車を移動させていた時、「校長先生、お手伝いしましょうか。」と声をかけてくれた子もいました。

日限山小学校の子どもたちは、相手のことを考えて行動したり、声をかけたりすることができる思いやりのある子どもたちです。その子どもたちに負けないように、私たち大人が子どもの範となり、思いやりの気持ちをもって行動していきたいという思いを強くした、子どもたちとの出来事でした。



【日本赤十字社のホームページより】

http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html